



平成21年3月17日

各 位

会 社 名 住友大阪セメント株式会社
代表者名 取締役社長 渡邊 穰
(コ - ド番号 5232 東証・大証第一部)
問合せ先 執行役員総務部長 村松 龍司
(TEL 03-5211-4505)

中期経営計画（2009～2011年度）に関するお知らせ

当社は、このたび住友大阪セメントグループの2009年度からの3ヵ年中期経営計画を策定しました。

当社を取り巻く事業環境は、国内セメント需要の急激な減少、石炭・原油等エネルギー価格の高騰・高止まり、電子関連をはじめとする新規事業分野における急激な事業環境の悪化により厳しい状況が続いております。

当社はこうした急変する事業環境に対しては予算などで対策を進めてまいりますが、一方で、百周年を迎えた当社が、次を見据え、新たな事業基盤を構築し、持続的成長を目指す為に、事業の目指すべき方向性を取り纏めました。

なお、本計画は当社が百周年を迎え初めて作成する中期経営計画となることから、101（イチマルイチ）中期経営計画と名づけました。

記

中期経営計画の概要

（1）全社方針

「両輪経営」の推進

国内セメント事業の高付加価値化による収益拡大

海外セメント・環境・発電事業、非セメント事業の事業拡大による収益拡大

（提携、M & A、外部の力も活用する）

（2）事業部門別取組内容

セメント事業 ...1)国内セメント事業

需要減少に対応した合理化実施

販売契約制度の定着、適正価格の確保

川下での営業基盤強化

2)海外・環境・発電事業等

海外セメント事業の拡大

環境・発電事業の拡大と収益安定

鉱産品事業 ...資源開発・鉱量確保推進

石灰石の外販拡大

建材事業 ...コンクリート構造物の補修・補強事業の拡大

最適生産・物流体制推進

光電子事業 ...L N変調器等の既存事業の拡大

新規事業の創出による事業基盤の確立

新材料事業 ...外部提携を含め生産体制の確立、徹底したコスト削減による収益改善

二次電池材料等のエネルギー・環境分野へ進出

- (3) 設備投資額 529 億円/3 年 (減価償却費 675 億円/3 年)
 事業環境に応じ、必要な投資を適宜実施
 (内訳) セメント製造設備等の維持更新 275 億円/3 年
 合理化 117 億円/3 年
 事業拡大 76 億円/3 年
 鉱山開発 61 億円/3 年

- (4) 研究開発費 123 億円/3 年 (事業拡大・新事業への取り組み推進)

- (5) 経営環境及び損益計画
 経営環境 (前提条件)
 国内セメント需要は中期的に低迷が続く (5000 万ト)
 エネルギー価格は中期的に高止まりが続く
 石炭 \$150/トン
 原油 \$100/バレル
 為替 100 円/\$

全社計画
 上記前提条件に基づく損益計画

単位: 億円 %

	11年度計画	08年度見通	増減
売上高	2,430	2,190	240
(営業利益率)	(6.3%)	(2.7%)	(3.6%)
営業利益	152	60	92
経常利益	135	50	85
当期純利益	68	19	49
総資産	3,189	3,184	5
有利子負債	1,046	1,180	134
純資産	1,392	1,322	70
自己資本比率	43.2%	41.5%	1.7%
ROA	4.2%	1.6%	2.6%
ROE	5.0%	1.4%	3.6%

事業部門別計画

単位: 億円

	11年度計画		08年度見通		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
セメント	1,901	109	1,760	52	141	57
鉱産品	106	13	96	3	10	10
建材	135	6	128	2	7	4
光電子・新材料	213	11	142	12	71	23
不動産・その他	75	13	64	15	11	2
合計	2,430	152	2,190	60	240	92

- (6) その他

CSR・IRの取り組み
 地球温暖化問題への取り組み
 自主行動計画目標値の達成
 温暖化ガス国内排出量取引試行制度への参加
 循環型社会形成への貢献

以上